



2023年3月期

第2四半期決算説明資料

2022年11月9日

TOWA株式会社

主な説明内容

- 1. 2023年3月期 上期実績**
- 2. 2023年3月期 通期予想**
- 3. TOPICS**

主な説明内容

- 1. 2023年3月期 上期実績**
2. 2023年3月期 通期予想
3. TOPICS

2023年3月期 上期サマリー

半期として過去最高

売上高
287.8億円

営業利益
58.6億円

経常利益
64.9億円

当期純利益
47.6億円

▶ 売上高は半期として過去最高の287.8億円。

前期から積み上げた高水準の受注残高を着実に生産・売上につなげた結果、中国、台湾及びその他アジアを中心として、売上高は287.8億円となり、半期として過去最高を更新。

▶ 各段階利益についても、半期として過去最高を更新。

大幅な円安による海外生産子会社でのコストアップや「TOWAビジョン2032」達成に向けた固定費の増加等はあったものの、各段階利益ともに半期として過去最高を更新。

2023年3月期 上期連結業績結果（前年比）

（単位：億円）

	2022/3期 上期実績	2023/3期 上期実績	増減額	前年比	2023/3期 上期業績予想 (ご参考)	予想比
売上高	243.3	287.8	+ 44.5	+ 18.3%	270.0	+ 6.6%
営業利益	56.7 (23.3%)	58.6 (20.4%)	+ 1.9	+ 3.3%	60.3 (22.3%)	▲ 2.8%
経常利益	57.0 (23.5%)	64.9 (22.5%)	+ 7.9	+ 13.7%	60.3 (22.3%)	+ 7.6%
当期純利益	41.4 (17.0%)	47.6 (16.6%)	+ 6.2	+ 15.0%	42.2 (15.6%)	+ 13.0%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2023年3月期 上期セグメント別売上高（前年比）

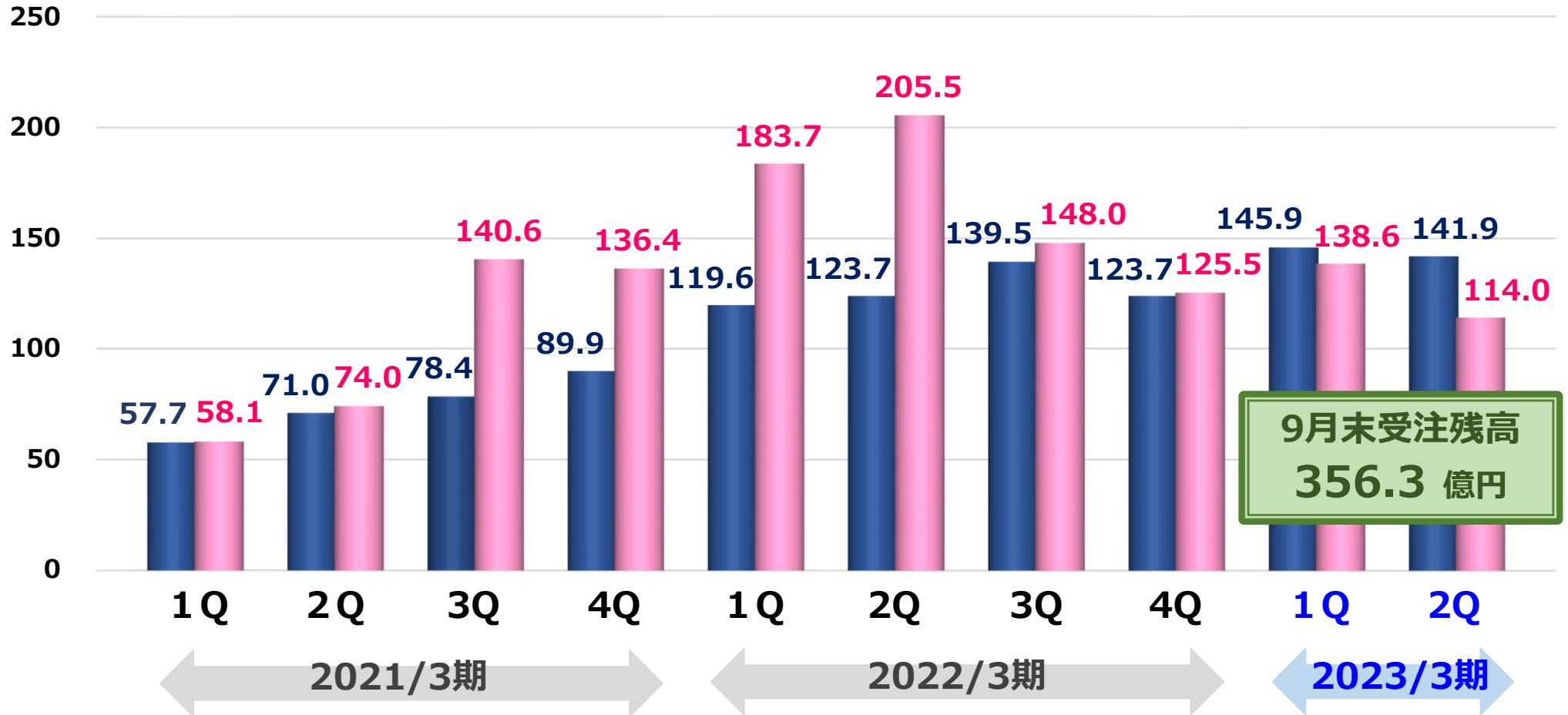
（単位：億円）

	2022/3期 上期実績	2023/3期 上期実績	増減額	前年比
売上高	243.3	287.8	+ 44.5	+ 18.3%
半導体事業	191.9	225.2	+ 33.3	+ 17.4%
化成品事業	9.1	9.1	± 0.0	± 0.0%
新事業	31.1	41.4	+ 10.3	+ 33.2%
レーザ事業	11.2	12.1	+ 0.9	+ 7.9%

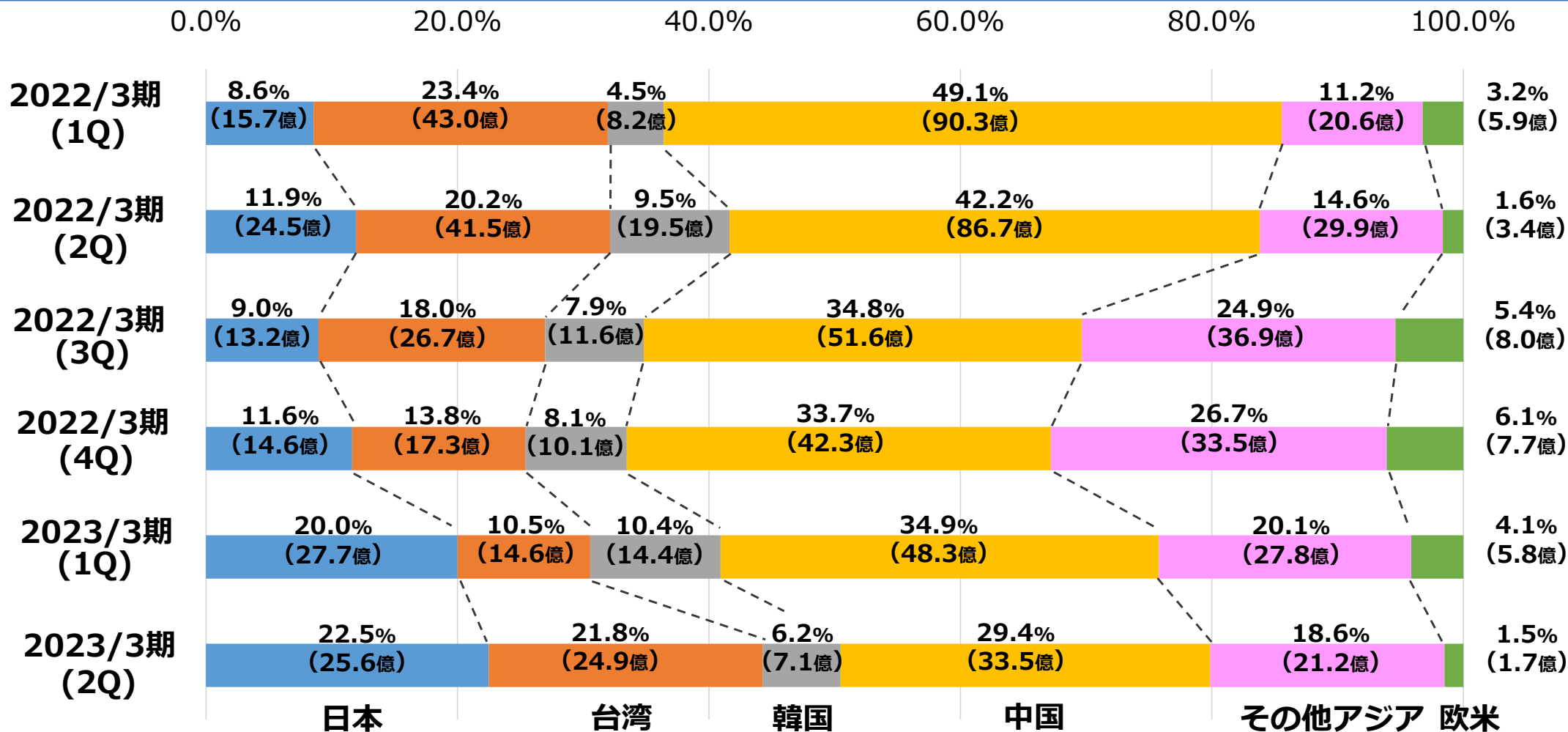
受注・売上高の推移

(単位：億円)

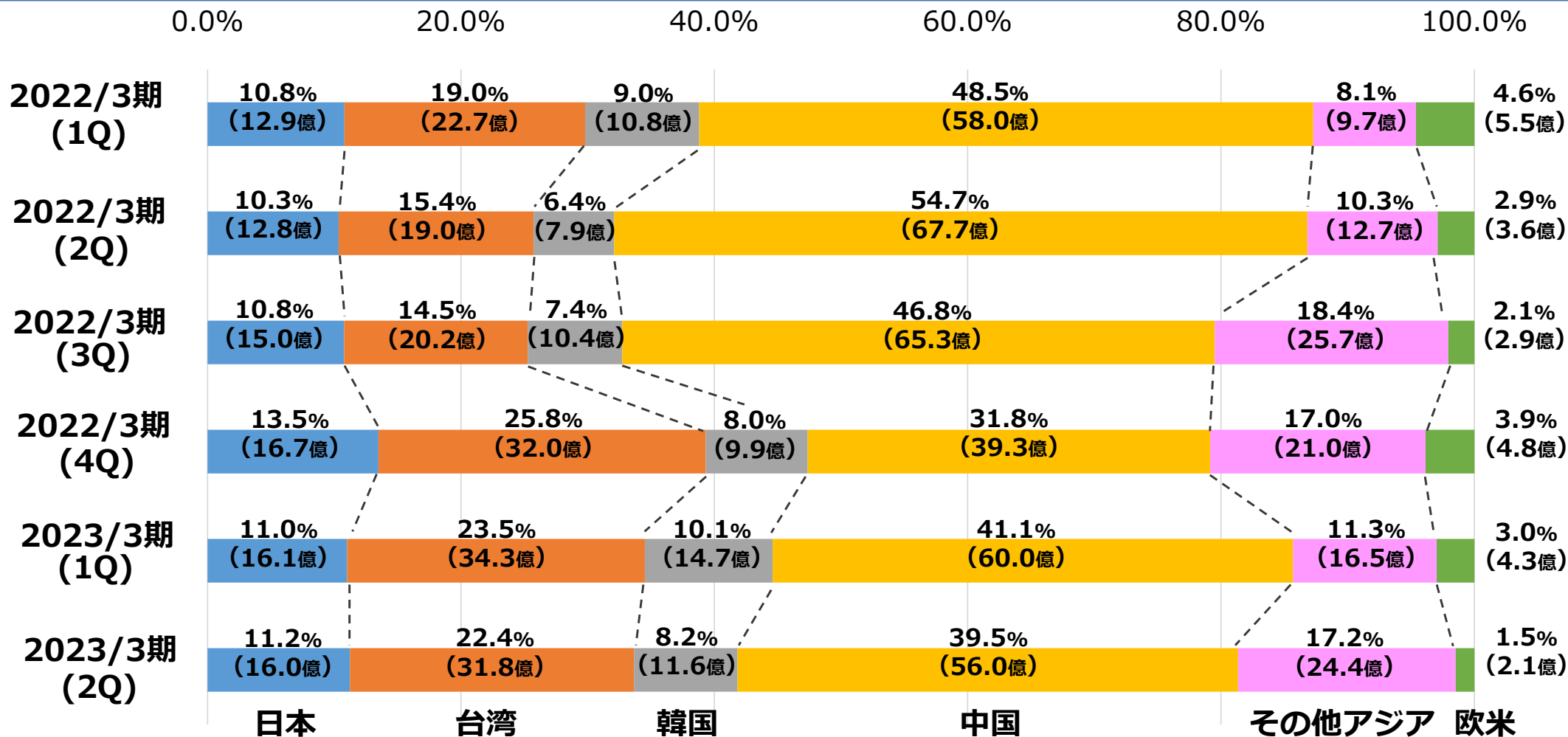
■ 売上高 ■ 受注高



地域別受注構成比率推移（仕向地ベース）

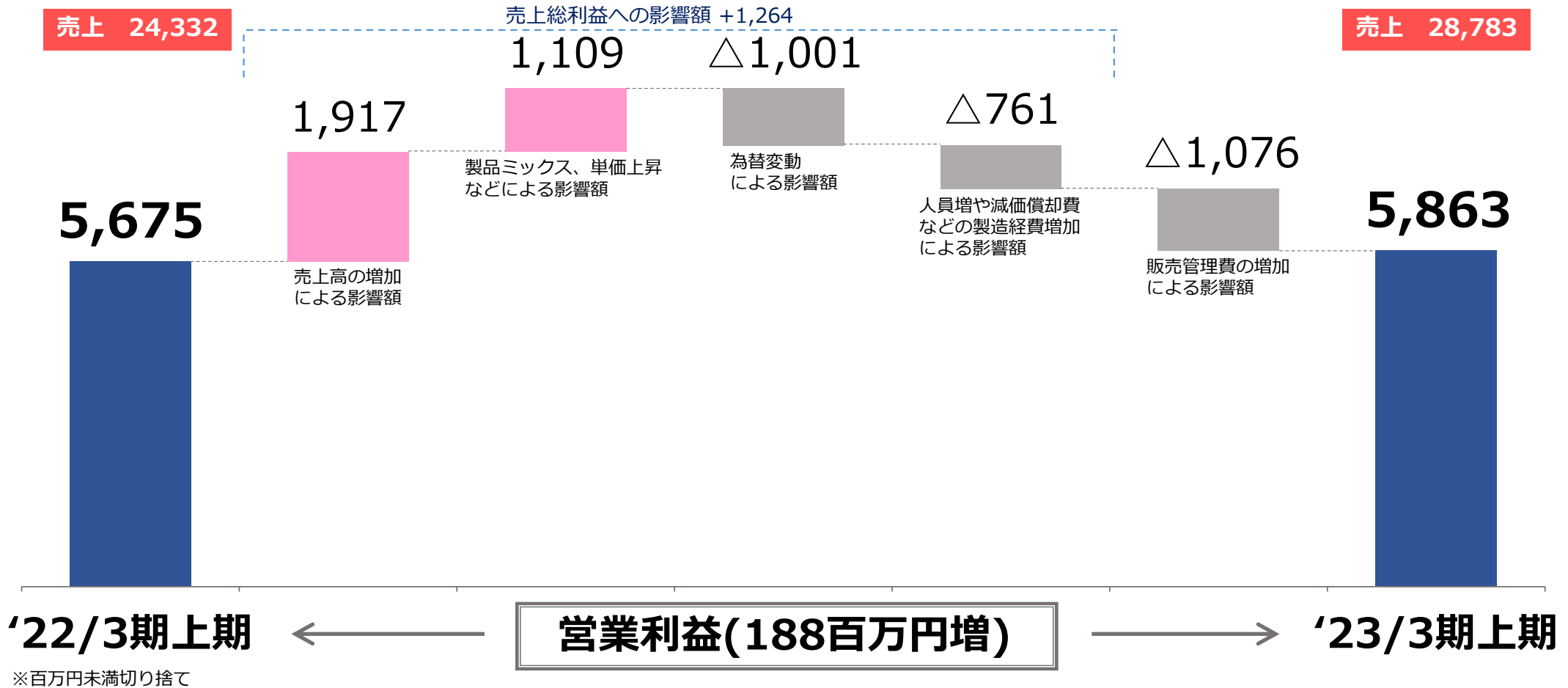


地域別売上構成比率推移（仕向地ベース）



2023年3月期上期 連結営業利益 増減要因分析

(単位：百万円)



主な説明内容

1. 2023年3月期 上期実績
2. 2023年3月期 通期予想
3. TOPICS

2023年3月期 通期 連結業績予想

(単位：億円)

	2023/3期 上期実績	2023/3期 通期予想	2022/3期 通期実績	前年比
売上高	287.8	550.0	506.6	+43.4 (+8.6%)
営業利益	58.6 (20.4%)	122.0 (22.2%)	115.0 (22.7%)	+7.0 (+6.0%)
経常利益	64.9 (22.5%)	122.0 (22.2%)	117.2 (23.1%)	+4.8 (+4.1%)
当期純利益	47.6 (16.6%)	85.0 (15.5%)	81.2 (16.0%)	+3.8 (+4.6%)

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

2023年3月期 セグメント別売上高計画

(単位：億円)

	2023/3期 上期実績	2023/3期 通期予想	2022/3期 通期実績	前年比
売上高	287.8	550.0	506.6	+43.4 (+8.6%)
半導体事業	225.2	420.0	403.8	+16.2 (+4.0%)
化成事業	9.1	19.0	17.2	+1.8 (+10.3%)
新事業	41.4	86.0	63.3	+22.7 (+35.8%)
レザ事業	12.1	25.0	22.2	+2.8 (+12.2%)

下期の市場見通しと業績予想

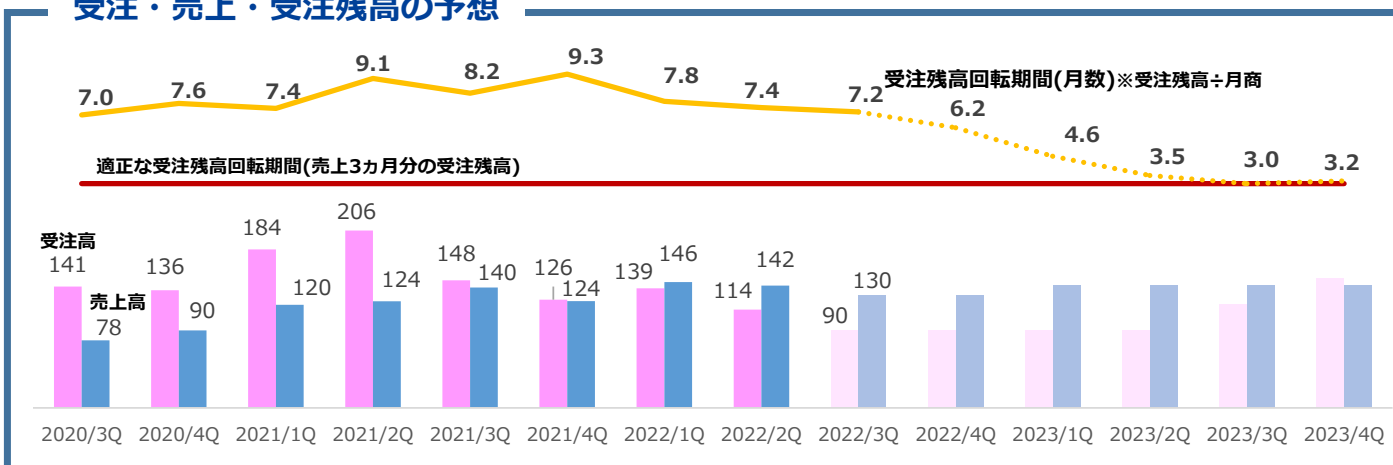
下期の市場見通し

- PC、スマートフォンなどの民生品向け投資は調整局面が続く。
- 車載向け半導体や電源関係のパワー半導体向けの装置の需要は底堅い。

業績予想

- 高水準の受注残高を背景に、売上高・生産計画に大きな変更はなく、当初計画を据え置き。

受注・売上・受注残高の予想



受注高予想

3Q	4Q
90-100億円	90-100億円

損益予想

(前回予想据え置き)

売上高	550億円
営業利益	122億円
経常利益	122億円
当期利益	85億円

2023年3月期 配当計画

	2022/3期 実績	計画
普通配当	40.0円	40.0円
記念配当	10.0円	—
合計	50.0円	40.0円

※配当方針「安定・継続配当」に基づき、40.0円に変更なし。
なお、中間配当は見送りとさせていただきます。

主な説明内容

1. 2023年3月期 上期実績
2. 2023年3月期 通期予想
- 3. TOPICS**

コンプレッション装置

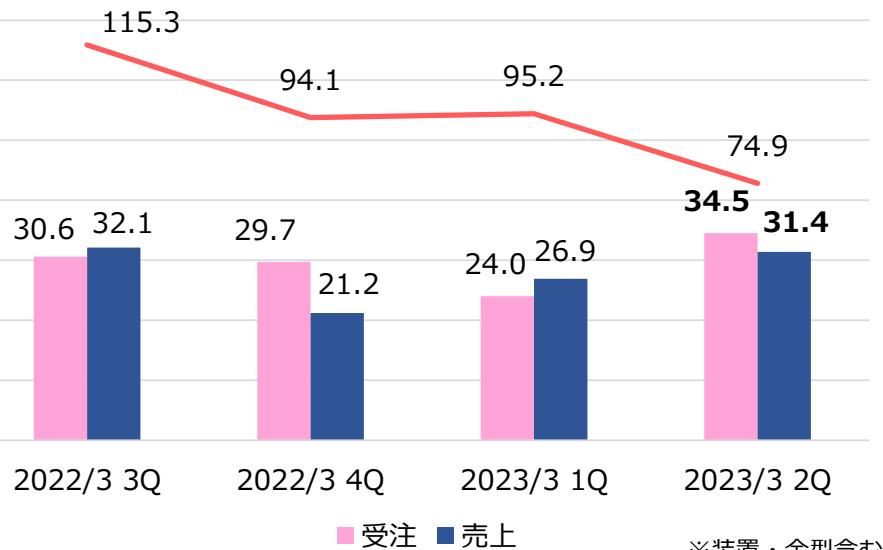
ハイエンド向けを中心にコンプレッション装置の需要が堅調

- データセンターや5Gなどのハイエンドデバイス向けにコンプレッション装置の需要は堅調に推移。また、WLP・PLP向けのCPMシリーズの受注割合が増加。

コンプレッション装置※
受注高・売上高の推移

(億円)

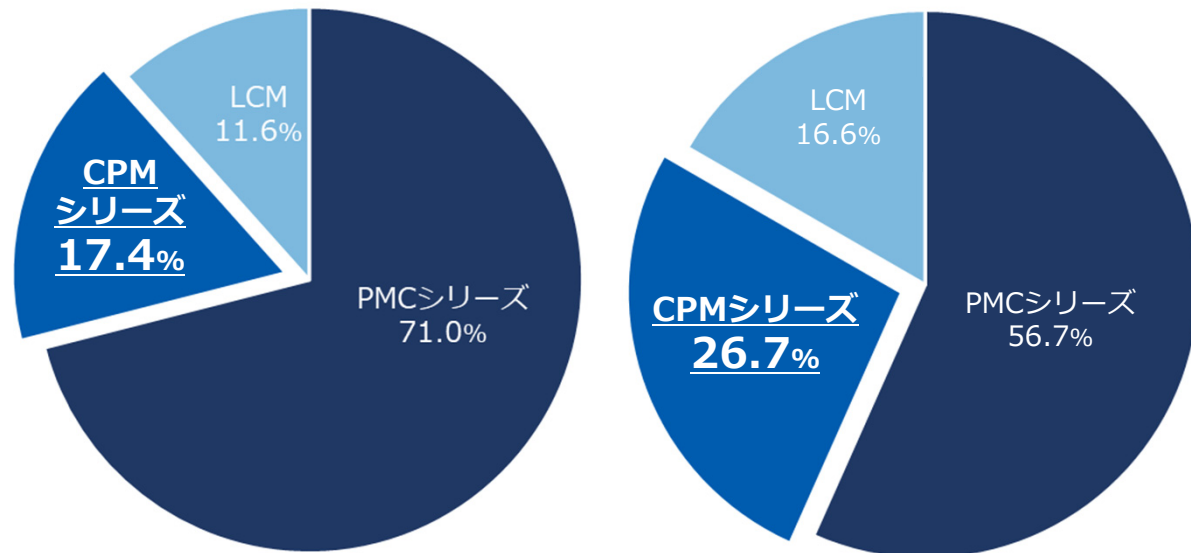
モルディング装置の受注高※



シリーズ別受注割合 (台数)

2022年3月期 (通期)

2023年3月期 (上期)



生産体制強化の取り組み

生産体制の強化により高水準の受注残高を売上・利益に繋げるとともに、**安定供給**と**収益力強化**を目指す。

安定供給

- 各拠点で生産可能な製品を拡大
(BCP対応と生産能力UP)
- MIPギアチェンジ
(市場環境に応じた部材手配)
- グローバル調達体制
- 長納期部品の置き換え
(代替品へ設計変更)

収益力強化

- スマートファクトリー化
- 装置仕様の標準化
(複数の特殊仕様を標準仕様へ)
- 部品内製化の推進
- 顧客工場での生産サポート
(安定稼働のサポートをビジネス化)

ESGの取組み

脱炭素に向けた取組み

【グループCO2排出量削減目標】

2030年度において自社(Scope1+2)のCO2排出量を2020年度比42%削減します。

2050年までに実質ゼロ(カーボンニュートラル)を目指します。

Scope1 : 自社による温室効果ガスの直接排出

Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出



既存棟・新棟ともに設置完了 (京都東事業所)

現在の主な取組み

- ・各生産拠点での太陽光パネル設置完了 (京都東事業所、中国蘇州、マレーシア)
- ・中国南通工場への太陽光パネル設置 (2023年1月設置完了予定)
- ・国内主要事業所での使用電力を再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え
- ・サステナビリティ・リンク・ローンによる資金調達

コーポレート・ガバナンスの強化

役員に対する譲渡制限付株式報酬制度の導入

女性取締役を1名増員し、多様性を強化

TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) の提言への賛同を表明

「TOWA CORPORATE REPORT 2022」発行

当社は、財務・非財務情報を統合的に発信するために、TOWA初のコーポレートレポートとなる

「TOWA CORPORATE REPORT 2022」を発行いたしました。当社HP上で公開していますので、ぜひご覧ください。

<ご参考> 【TOWA CORPORATE REPORT 2022】

https://www.towajapan.co.jp/index.php/download_file/view/2564/5010/220

T O W A ビ ジ ョ ン 2 0 3 2

「変革で世界の頂へ」



《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部

〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel : 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。